

むさしの歯科

歯周病病巣をデジタルで「見える化」し健康寿命増進へ貢献する

CT活用で医療費も削減

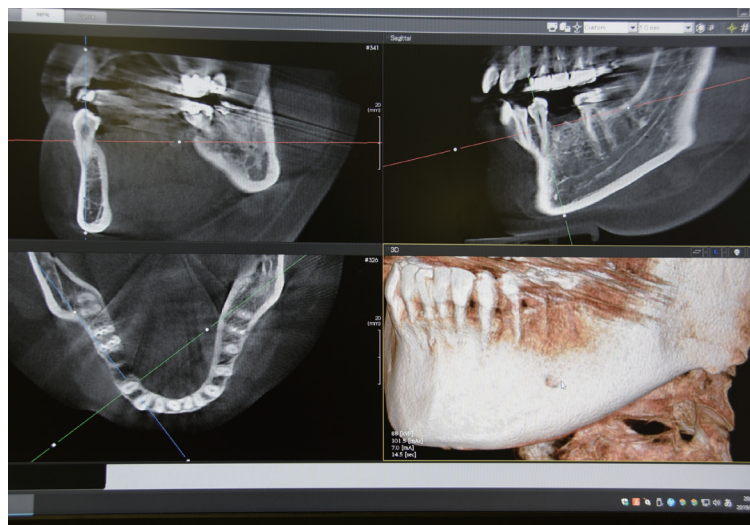
30歳以上の大人が歯を失う最大の要因であり、心臓病や糖尿病といった生活習慣病のリスクを2倍、3倍にも高めるとされる歯周病。川越市下赤坂で開業するむさしの歯科は、ものづくり補助金を活用し2018年

内に隠れた部分に付着した歯石の位置を確かめた上で、専用の器具ハンドスケーラーを使って歯石を取り除く。とは言え2次元のレントゲン画像では歯石の位置が正確には分からないため、歯石除去は手

探りにならざるを得ない。歯石を取り残すとそこから再び歯周病菌が増殖し、完治は難しい。

これに対しCTは3次元画像のため歯石の正確な位置を知ることができる。ピンポイントで歯石を除去し、しっかりと取り除くことができるかの確認も可能。北浦伸城院長は「治療が格段にやりやすくなった。医師の判断が早くなり、患者さんの通院回数も減るため医療費削減にもなる」と話す。

従来の治療では、患部をレントゲン撮影し、歯と歯肉の隙間（歯周ポケット）



歯周病の患部をCT撮影した画像

CTは、歯内療法（歯の根の治療）やインプラント治療にも応用でき、治療の幅を大きく広げた。例えばインプラント治療であれば、骨の部分に人工歯根（ねじ）をどの程度の深さ、どんな角度で埋め込めばいいのかをシミュレー

ションすることもできる。以前なら数千万円もしたCT機材の価格が下がり、最近では200〜300万円の装置も登場。CTを導入する歯科医院は増えている。北浦氏は「CTに頼るばかりではなくテクニクも磨かないと。やはり的確に治療できる技術こそ大切」と語る。

■ むさしの歯科

所在地：川越市下赤坂651-10

代表者：院長 北浦伸城

開院：2004年6月 従業員数：7人

電話：049 (261) 7878

メモ▶ 2004年6月に開院した歯科医院の経営を2014年11月、現在の北浦院長が引き継いだ。歯周病治療、インプラント治療、歯内療法に力を入れている。